

新宮山彦ぐるーぶ第1971回—1

## 春季連休中行仙宿への来宿者の対応と補修作業(行仙岳北面段差、笠捨山捲き道と補給路、葛川辻水場径と笠捨山西面の倒木切除)

◇実施日：2018年04月29日～5月01日(火)

◇参加者：山上皓一郎、橋本 梓、川島 功、生熊敏男、

今中三恵子(4/29～5/1)。瀧本昭太郎(4/29～30)。

沖崎吉信、生熊千満子、高階美根子(4/29)。

計9名、延20日。

4月29日(日) 快晴。(来宿者3名)

沖崎車(橋本、生熊夫妻同乗)、川島車(山上)で新宮7時に発ち、下北山村役場駐車場で初参加・初顔合わせの今中(大阪市)さんと8時半集合を打合せていた。役場駐車場に8時過ぎに着き、顔が判らないため携帯電話で「今何処？」と聞くと「今、駐車場にミニカー・パー車で着いた」との事、車から出てこられて皆で自己紹介する。

役場・地域創生推進室の和田君が、たまたま居られ「大日如来座像は、小仲坊・五鬼助さんの意向では、修理せずにコンクリートで台座の岩を水平・固定した上に安置する」とのこと。5/13に下見を実施する。又、今後の資材荷上げ等の協力と以前補給路改修時に提供頂いた防腐剤含浸丸太提供のお願いと連絡をした。

前日に参加すると連絡のあった瀧本さんから電話で「池原到着」との連絡があり、今中さんと合流したので先行する旨を返信する。今中さんには、今後も参加して頂く事を考慮して、本人の車で後を付いて来て貰う。

役場を出て浦向三叉路で高階車と合流後、森林組合倉庫横に駐車して川島車に同乗して登山口へ。登山口に8時半過ぎに着くと程なく瀧本車も到着。共同装備の3日間食料・缶ビール2箱・ガソリン5L缶・チェンソー1台・ガスカートリッジ等と何人かのザックを満載して、生熊・山上さんがモノレールで終点へ。



モノレールに荷の積み込む



行者堂周りの幟旗



終点に到着するとザックを担いで先行した橋本・生熊千・高階さんと山上さんは先行して行仙宿へ。快晴で陽のあたる尾根は、暑く汗をかくが、鉄塔傍を越えた木漏れ日の補給路になると、涼しく感じ、新緑の風が清々しい。

荷は多くてもう一回何人か往復するとのこと。川島は無理せず約18kgの荷を担いで歩き出すと、生熊千・高階さんが第二ベンチに荷を置いて残りの荷を持ちに下りて来る。

10時前に行仙宿に着き、先行した山上・橋本さんに行者堂周りに幟旗を立てて頂く。又、小さい鯉のぼりも。

管理棟・資材倉庫の鍵を開け、残りの荷を持ちに下りようとしていると一回で荷が上がったとの事、最後尾組の瀧本・沖崎・生熊氏の頑張りによって一回で荷が上がった。

小休止後、荷の整理を山上さんに任せ、8人で行仙宿水場に水を汲みに下り、計94Lの水を補給した。

行仙岳北面段差の補修作業をするため、早目に昼食。

日帰り組には、水場径の無くなっている栈木段差の補修(4段程)作業を、山上さんには夕食のまかない準備をお願いして、12時10分頃に栈木10本・木杭6本・大ハンマー・トンガ・番線・鋸等を手分けして担いで行仙岳へ。



昼食の懇談

途中、赤ヤシオ・白ヤシオツツジが咲いていて、今年は暖かい日が続き、この時期での開花はめったに無い事である。行仙岳山頂のコシアブラも少し葉が開いているが、ロープを枝又に掛けて、ロープを伝って木に登り、小枝2本を切除して、天麩羅の具材を採る。



赤ヤシオツツジ咲く



行仙岳山頂にて



北面段差の補修

山頂からの霜柱等で浮き上がった栈木と横栈木の木杭を大ハンマーで叩き固める。毎年行っているが木杭が地中に入って行く。捲き道分岐からは、栈木階段の連続する箇所であり、木杭の無

い所や斜めの木杭を打ち直して、確りした栈木段に補修する。又、木製階段の登山道へ雨水が流下しない様に、水切り導水溝を掘る。14時20分に作業を終了する。



北面段差の補修



捲き道分岐・作業終了



山上ヶ岳・大峯山寺の戸開け式(3日午前3時)に参加のため、新宮市から順峰行されている三井寺・得度の椎木(広島市)、今野(岩沼市)行者の会友が、本日持経宿に泊る予定で通過するはずなのだが、捲き道を辿り補修する作業をしていると「川島さん！」の声、見上げると行仙岳直下の小鞍部に椎木行者、直ぐに今野行者の懐かしい姿と対面する(4:27)。満行を！と見送る。



椎木・今野行者(会友)



捲き道補修後



継の窟頂の赤ヤシオ

15時頃に行仙宿に戻ると日帰り組が下山準備中である。

葛川辻で幕営される和歌山県・紀美野町の方が来られ、行仙宿  
↳21世紀の森の点検巡視(3/25)の際に沖崎氏がお逢いした方で、  
葛川辻の水場径には倒木がある情報を頂いた。明日、点検整備す  
る事にした。

夕食は、マグロカマ(畑林氏)の塩焼き、山菜等の天麩羅(乾氏+  
行仙岳採取のコシアブラ、南瓜+茄子+薩摩芋+イカ等(山上氏)、マ  
グロ刺身(生熊氏)、マグロせせり身、スナップ豌豆と玉葱(川島)  
サラダで在る。天麩羅揚げ番は、新会友の今中さん。

宿泊者2名とビールで乾杯し豪勢な夕食になる。又、山口県の  
十二支会・伊藤さんから頂戴した、日露首脳会議のデイナーで飲  
まれた(株)澄川酒造場の一番纏・純米大吟醸「東洋美人」は、めっ  
たに飲めない酒であり、皆で少しずつ吟味試飲した。

遅れて疲れきった宿泊者が到着。釈迦ヶ岳迄から旭口に下山す  
る予定だったが・・・明日、林道を歩いて168号線十津川村に  
出て駐車の本宮に戻るとの事。疲れているのでは林道歩きは無理  
だよ・・・瀧本氏(和歌山)の厚意により、明日午後下山時に車で  
送って貰う事になり大喜びである。

山上・橋本氏は管理棟へ、20時に消灯し就寝。



天麩羅揚げ番



豪勢な夕食・懇談



### 行動タイム

新宮7:00→8:05下北山村役場8:15→8:35登山口8:50→9:50行仙宿  
10:30↓水汲み↓11:10行仙宿↓11:20昼食12:10↓行仙宿12:15↓  
12:50行仙岳↓行仙岳北面段差補修14:20↓撒き道補修↓15:00行  
仙宿。夕食16:30、消灯・就寝20:00。

4月30日(月・祝) 薄曇後晴 (来宿者11名・テント5張)

起床9:00、来宿者を送り出し朝食。サトウの御飯にインスタン  
ト味噌汁、マグロの干物(生熊氏)、シーチキンと玉葱サラダ+自  
家・胡瓜漬物(川島)である。サトウの御飯は、発電機を作動させ  
て電子レンジで暖めるつもりだったが、雨水を食器消毒用にカマ  
ドで沸かした湯で、炊き立ての御飯に戻した。

夕食・朝食の食器類の後片付けは、山上さんをお願いし、生熊  
さんはモノレール終点上の補給路の補修をされる事になる。

瀧本・橋本・今中・川島の4名は、3/25の点検巡視の際に、旧  
通信道(鉄塔巡視路・笠捨山捲き道)の葛川辻側分岐の崩土による  
横桟木の流失による道の補修と笠捨山西面の奥駈道の倒木再確認  
と切除並びに葛川辻水場径の倒木切除に、昼食の缶パン持参で作  
業に行く事にした。瀧本さんに送って貰う方は、空身で俱利迦羅  
岳辺りまで行って来るとのこと。



朝食中



行者堂・作業出発前

大ハンマー、トンガ・チェンソー(刃長350mm)・くい丸4本を手に持って、行仙宿を7時15分に出発。No24鉄塔手前の棧道を少し手直しベンチで小休止。この間、補給ガソリンの臭いがするので少し洩れている様だ。白ヤシオを見ながら先へと進む。



一人ずつ鉄橋を渡る



No24鉄塔前の道補修



白ヤシオ見て辿る

奥駆道の分岐手前(9時10着)の崩土による横棧木流失箇所を補修は、以前運搬した丸太3本を使って、横棧木にして嵩上げをして、くい丸を打ち込み横棧木の崩れを防止した。そこへ山側斜面の土をトンガで掻いて入れて、道幅を少し広げて水平に踏み固め9時40頃に作業を終了。



旧通信道の横棧木流失箇所の補修作業



補修作業後の道



補修を終え分岐で小休止

荷を分岐にデポしチェンソーと鋸持参で水場径へ。葛川辻の水場径の上部は杉植林帯で、平成24年にみちくさハイキングクラブの応援を得て完成させてから6年が経過し、昨秋の台風はこの辺りが風の通り道になった様で、杉倒木がかなり斜面に散見され、落枝が水場径上に散乱し、段差も崩れかけており、目印を少なく、径らしい所を辿ると倒木が支障になる。何とかくぐり抜けられる状態であるが、支障の杉倒木を4本切除し歩き易くした。この杉倒木切除の際に、チェンソー刃が締まり抜けなくなり、手鋸で切り、チェンソー刃の外れを防いだ。



水場径の倒木切除



笠捨山西面の倒木処理



笠捨山直下の急登

その後、葛川辻から笠捨山へと奥駈道を登ると、旧通信道(鉄塔巡視路)分岐から約100m登るとブナの倒木が在り、前回の点検巡視で一部切られているが、チェンソーで2本の大きな枝を切除し、迂回する事の無い奥駈道にした。その上の大木は迂回する道が登り易くそのままにした。

笠捨山直前にチェンソーカバーが無くなっている事に気付き最後尾の瀧本さんが拾って下さると思っていたが・・・11時過ぎに笠捨山に到着されたが、見当たらなかったとの事。

今中さんが電源巡視路分岐から補充ガソリン缶を持って山頂に運んで下さり山頂に置いていた間に、ビニール袋にガソリンが溜まっていて、キャップが少し緩んでいたが、後で穴があるのを確認し、これが洩れの原因だった。

缶パンで昼食。山頂からの眺めは、薄曇と春霞で少しかすんでいるが北の釈迦ヶ岳以北まで望めた。山頂傍のシヤクナゲは少ないが、咲きは始めている。



笠捨山山頂にて



山頂のシヤクナゲ



瀧本氏下山前

小休止後、11時35分に笠捨山山頂を発ち、川島はチェンソーカバー回収に、旧通信道(笠捨山捲き道)經由で行仙宿に戻る事にした。3人は尾根の奥駈道を辿り行仙宿へ下山。

チェンソーカバーが見つけれなかった、プラスチックの為、

急斜面を見えない所まで滑り落ちた様である。  
13時35分に行仙宿に戻ると3人は既に戻っていた。しばらくして瀧本さん達は、14時半前に下山された。

### 生熊さんの作業報告

笠捨山方面作業班が小屋を出た後、山上さんに悪いが小屋をお願いして、生熊一人で以前から気になっていたモノレール終点少し上の補給路修復に降りる。足が遅いので遠路の行動は皆さんに迷惑をかける為、気ままにさせてもらった。

所々手直しをしながら目的の場所へ。体力があれば大ハンマーで長い杭を打ち込んでしっかりした補修をしたいが、体力に合わせた方法で修復する。

途中3名の登山者に出会うが、白谷トンネル口から林道を歩き、この補給路へ登って来られ、前日役場に問合せたところ新宮山彦ぐるーぷの川島さんは、上がっているから聞いてくれと言われたそう。丁度今頃笠捨山付近で倒木処理している旨を告げた。夕イミングが合えば会えるかも、行き違いになるかもと別れた。

そろそろ12時前で道具を片付け作業を終えて、私も小屋へ引き返した。  
(記：生熊)

先着の若い来宿者に、苦勞して見つけた水場へ水汲みに行つて貰う。

山上さんのお陰で夕食準備が整い、予約者6名(神戸中央山の会)到着後16時頃から、山菜・串揚げ等の天麩羅、マグロ・アジの刺身、スナック+玉葱サラダと缶ビール1本無償の「おもてなし」で総勢16名が集い、自己紹介して賑やかで楽しい夕食になる。

天麩羅揚げ当番は、ベテランの神戸の女性陣にお願いした。昨夜同様に「東洋美人」の銘酒も試飲して頂いた。

この小屋設置と「おもてなし」は、此処を歩いて貰い藪山に戻らないためになされたものであり、千日刈峰行や小屋建設の苦勞

話は当ぐるーぶのHPを見て頂きたいと説明する。



天麩羅当番の方々



和やかに懇談の夕食



和やかに懇談の夕食



水場の水汲み体験へ

夕日が綺麗に眺められると山上さんの案内で三ツ鉄塔(から池の少し先)に行かれ、夕食懇談が中座。又、實利行者にお願いして見つけた「命の水」のいきさつを話したので、注連縄の張ってある水場へ、2Lペットボトル2本を持って神戸の女性陣2名が水汲を体験して下さった。

19時半頃から食台を片付けて、寝る場所と毛布・枕を出して寝る準備をして消灯20時を告げ、山彦Gは管理棟で食事と飲み直す、川島以外は管理棟で就寝。

### 行動タイム

朝食6時。行仙宿7:15→8:05No24鉄塔8:10→9:10補修作業9:40→9:50葛川辻水場径の倒木切除10:20→11:10笠捨山頂(昼食)11:35↓捲き道分岐12:00→13:35行仙宿。夕食16:00、消灯・就寝20:00。

5月01日(火) 快晴

5時前にLEDを点灯しコーヒを飲んで頂き、5時半には来宿舎は全員出発された。

朝食は昨日と同様の朝食で、朝食後に管理棟の毛布を屋根上に干し、不要品を降ろす準備をする。



朝食状況



補修された道を辿る

昨夜、缶ビールが無いと(定位置に無かった)と沖崎氏に電話したら、乾・奥村・竹中氏の交代小屋番が10時30分に食材と缶ビール2箱+コーラー飲料水の500ml1箱荷上げするので手伝って欲しいと託る。この間にモノレールから下の補給路の段差補修作業をする為、大ハンマー・トンガ、栈木と木杭を持って8時40分に行仙宿を出発。今中さんは一緒に早目に下山される。

昨日、モノレール終点少し上まで補給路を修復された生熊さんのお陰で本当に歩き易く、きっちり作業された事が明白である。本日生熊さんは、昨日作業仕切れなかった所と水切り溝堀り等

の作業をして下さる。川島は、モノレール終点直ぐ下のガラ場前の段差をくい丸を使い修復する。橋本さんは、栈木を担いでモノレール下の補給路で、栈木が無い箇所運んで下さる。

10時前に生熊さんモノレール運転に登山口へ、今中さんは一緒に下山して、交代する小屋番に挨拶をして帰宅へ。



昨日、生熊氏修復済の道

くい丸で段差修復

交代者の荷物到着！

作業を終えた橋本・川島は、No20鉄塔への浦向道の木陰で休憩、奥村車が林道を走行しているのが見える。しばらくしてモノレールエンジン音が聞こえ、モノレール到着を待つ。10時25分に到着し、川島は荷上げ品のコーラー等飲料水を担ぎ行仙宿へ。

11時10分頃に行仙宿に着き、引継ぎの残り食材と実施作業を打合せして小屋番の引継ぎをする。11時20分頃から昼食、我々はレトルトカレーにする。

12時10分過ぎに、乾・竹中・奥村氏は、旧通信道(笠捨山巻き道)のNo24鉄塔迄の出来る範囲の浮いた栈木・木杭を大ハンマーで打ち込む作業に行かれる。

我々は、管理棟屋根に干した毛布を収納して、乾さん達が戻る前の13時50分に下山し川島車で帰新した。沖崎宅に立寄り補充品等を連絡する。



交代者・各自弁当とレトルトカレー昼食、

小屋番を終え下山

### 行動タイム

朝食7時。管理棟毛布干し↓行仙宿8:40→9:00補給路作業9:40→10:25モノレール終点↓11:10行仙宿↓11:15昼食12:00→13:20毛布収納13:40↓行仙宿13:50→14:25登山口14:30→16:00新宮。

(記：川島)